

平成29年8月

第3回大野市子ども議会 会議録



開 会

平成29年 8月18日(金)

閉 会



大野市議会議員
野村 勝人

大野市議会議員
高田 育昌

大野市議会議員
梅林 厚子

大野市議会議員
宮澤 秀樹

大野市議会議員
松原 啓治

大野市議会議員
高岡 和行

大野市議会議員
藤堂 勝義

大野市議会議員
川端 義秀

大野市議会議員
松田 元栄

大野市議会議員
廣田 憲徳

大野市議会議員
堀田 昭一

大野市議会議員
島口 敏榮

大野市議会議員
畑中 章男

大野市議会議員
榮 正夫

大野市議会副議長
永田 正幸

大野市議会議員
山崎 利昭

市長
岡田 高大

副市長
田中 雄一郎

副市長
今 洋佑

教育長
松田 公二

大野市議会議員
砂子 三郎

大野市議会議員
筆井 大

有終南小学校
ひろさく ちひろ
廣作 知優

和泉小学校
やまさき せいま
山崎 誠眞

小山小学校
はっとり おとは
服部 詩花

下庄小学校
あかし ななせ
明石 七星

上庄小学校
いしがみ にこ
石神 にこ

有終東小学校
きのした れんじ
木下 連士

乾側小学校
よしかわ ほのか
吉川 ほのか

富田小学校
よしまら みえこ
吉村 美絵子

阪谷小学校
やまごし きなり
山腰 祈愛

有終西小学校
いのうえ れな
井上 鈴菜

平成29年8月第3回大野市子ども議会会議録 目次

第1号 [平成29年8月18日(金)]

議事日程 -----	1
出席議員の氏名 -----	1
説明のため出席した者の職・氏名 -----	1
出席したオブザーバーの職・氏名 -----	2
(議事)	
議席の指定 -----	5
会議録署名議員の指名 -----	5
会期の決定 -----	5
大野市長あいさつ -----	5
子ども議員質問 2番 (阪谷小学校6年 山腰祈愛君) -----	6
1 大野の周辺村落の活性化について	
私は、六呂師に住んでいます。	
今は、スキー場やうらら館が再開しましたが、また無くなるのではないかと心配です。	
私は、六呂師が好きです。	
大野市の中心以外に住んでいる人も、それぞれの地域が好きだと思います。	
○今後、さらに観光客が増えるPRをした方がいいのではないのでしょうか。	
○今現在、市ではどのようなPRをしていますか。	
2 六呂師の交通手段について	
私は、近くで買い物をしようとしてもお店がありません。車でお店まで行こうとすると、20分ぐらいかかります。	
私や運転のできないお年寄りが気軽に大野市内に行けるようにしてほしいです。	
○私たちの学校送迎のバスと一緒にお年寄りも乗り、市内まで送り、学校が終わる時間にお年寄りを乗せ、学校まで来て、六呂師と一緒に降ろしてもらえばどうですか。	
子ども議員質問 3番 (富田小学校6年 吉村美絵子君) ---	7
1 ふるさと納税について	
7月のニュースを見ていたら、ふるさと納税の特集をしていました。	
大好きな大野なので、ふるさと納税の金額もトップ10に入っていてほしいと思いました。	
しかし、トップ10に入っていないと残念でした。	
そのあと、今までトップ10入りしていなかった坂井市の特集をしていました。	

どんな返礼品が喜ばれるか知恵を出し合って、越前ガニに変えたことによって、福井県で2位になったそうです。

大野は、ホームページでサトイモやマイタケ、酒、しょうゆなどの特産品を返礼品としていることを知りました。

私は、大野のサトイモが大好きで、ふるさと大野のよさを知ってもらえる特産品を返礼品とするのは、とても良いことだと思います。

ただ、もう少し注目してもらえる工夫や、全国でも有名な天空の城に関する返礼品を考えるなどして、寄付金が多く集まるといいなと思います。

集まった寄付金を有効に使い、大野が住みやすいまちになる事を望みます。

ここで質問です。

○ふるさと納税の返礼品は、どのように決めているのですか。

○集まった寄付金は、どのように使われているのですか。

2 回目以降の質問 ----- 9

子ども議員質問 4 番（乾側小学校 6 年 吉川ほのか君） --- 9

1 大野市の人口を増やすための土地の利用について

大野には、田んぼがたくさんあります。調べてみると、名古屋ドーム約830個分もあります。

田んぼがたくさんあると、自然がいっぱいで良いと思います。

しかし、大野市の人口はどんどん減ってきています。

そこで質問します。

○大野市の人口が増えるように、市としてどんな対策をしているのですか。

私は、大野市には田んぼなど広い土地がたくさんあるので、ほかの県にはない珍しい場所をつくれば、観光客も増えると思います。

そして大野市に住んでいる私たちにとっても住みやすい施設を造るといいと思います。

例えば大型のショッピングセンターなどです。

大野市にはヴィオがありますが、福井のエルパに行く人がたくさんいます。それはヴィオで買えない物がエルパでは買えたり、エルパの方がお店の数が多いからだと思います。

また観光客がたくさん来るように、大野の名産を作ることができる場所や、子どもがたくさん来るように、遊園地などを造るといいと思います。

○このように広い土地を利用して、大野に暮らしている人も住みやすい場所をつくと良いと思います。

このことについて、大野市の意見をお聞かせください。

子ども議員質問 5 番（有終東小学校 6 年 木下蓮士君） --- 11

1 大野市の小学校編成について

大野市の小学校が10校から2校になると聞いています。

私は、この意見に賛成でもあり反対でもあります。

人口が減ってきているので、小学校を合併して1校の人数を増やせばにぎやかになると思いますが、自分たちの母校が無くなるのは嫌です。

そこで質問をします。

○学校の場所によっては、歩きで登校するとすごく時間がかかる場所があると思うのですが、どう考えていますか。

○自分たちの母校の名残を残してもらえますか。

○小学校を建てる場所はあるのですか。

2 回目以降の質問 ----- 12

子ども議員質問 6 番（上庄小学校 6 年 石神にこ君） ----- 12

1 大野市の小学校を2校にすることについて

9年後に大野市の小学校を2校にすると聞いています。このままいくと、上庄小学校が無くなってしまうと聞きました。

私は、上庄小学校が好きで、無くなってしまうと、とても寂しいです。

今、上庄小学校では上庄地区を盛り上げるために麻那姫音頭を踊ったり、6年生で夏祭りにお店を開いたりしています。

そこで質問をします。

○どうして地区の学校を無くして、2校にしようと思ったのですか。

○上庄小学校が無くなってしまったとしても、上庄地区を盛り上げられるようにどんなことをしていただけますか。

2 大野市のPRについて

大野市には、天空の城や名水があります。またそれぞれの地区にも特産物などがあります。

私の住んでいる上庄地区には、上庄サトイモがあります。

私は、大野市にたくさんの観光客に来てほしいと思っています。

そこで質問をします。

○大野市をPRするために、市役所では何をしていますか。

○今後、大野市をPRしていく中で、何か課題はありますか。

子ども議員質問 7 番（下庄小学校 6 年 明石七星君） ----- 16

1 福井国体に向けての大野市の取り組みについて

来年度、福井国体が開催されます。

大野市では、自転車、相撲、カヌーの競技が開催されますが、その選手や観客に大野市の良い所を知ってもらうために、どのような取り組みを考えていますか。

大野市は人口が減ってきているので、他県から来てもらえる福井国体は、大野市をアピールできる良いチャンスだと思います。

2 下庄公民館前の歩行者信号について

毎朝、私は、下庄公民館前の歩行者信号を利用して登校します。

そのとき、歩行者信号の青の時間が短く、登校班全員が1回で渡り切れません。

そこで、次のような要望をします。

○私たち児童が登校する時間だけでも、歩行者信号の青の時間を長くしてください。

子ども議員質問 8 番（小山小学校 6 年 服部詩花君） ----- 17

1 水の事について

4年生の社会科学習で、大野の一部地域では冬に水枯れが起きていると学習しました。

○今現在、地下水を利用できない家はどれくらいあるのですか。

○また地下水が使えなくなったらどうしますか。

1学期に学校でキャリングウォータープロジェクトがあり、東ティモールから来られたエゴ・レモスさんのお話を聞きました。

○今、大野市ではどんな活動や支援をしているのですか。

○ほかの国に支援を広げていくつもりはありますか。

○また水の精みずのめぐみんというキャラクターは、どうやってできたのですか。

子ども議員質問 9 番（和泉小学校 6 年 山崎誠真君） ----- 19

1 建設中の中部縦貫道について

私たちの住んでいる和泉地区では今、道路工事が盛んに行われています。

新しい道路が完成したら、市街地や福井の方まで行くのが今よりもっと便利になることを思うと、早くできてほしいなあと待ち遠しい気持ちになります。

でも、疑問に思うことがあります。

○中部縦貫道が完成したら、有料になるのですか。

○もし有料になるとしたら、いつごろになるのですか。

有料化になれば、（大野）市街地まで出掛けるときには、今までと同じように国道を通行した方が良いという考えもあります。

これでは、今までと変わらないと思うので、

○和泉 - 大野間だけ無料券を発行するというような、和泉地区の住民を無料にするような方法を考えてほしいです。

2 福井しあわせ元気国体について

来年度は、福井国体があります。

和泉地区もカヌーの会場になっていて、4月にはプレ大会も行われました。

学級では、都道府県の応援ののぼり旗をみんなで書き、国体に向けて盛り上がっているのを感じます。

福井国体のことで疑問に思ったことがあるので、質問します。

○福井しあわせ元気国体で、大野市をPRする取り組みはしているのですか。

○例えば、和泉地区はカヌー競技の会場になっていますが、国体が終わった後は、どのようになるのでしょうか。

○私からの提案ですが、和泉のカヌー会場をカヌー競技だけでなく、川辺でできるスポーツや、川遊びなどを気軽に体験できる場所にしてほしいです。

そうすれば、たくさんの人がカヌー競技だけでなく、和泉地区のことも知ってもらえると思うからです。

ぜひ、実現できるように、よろしくお願いします。

子ども議員質問 10番（有終南小学校6年 廣作知優君） ---

21

1 観光客増加について

私の祖父は、観光ボランティアガイドをしています。

年々観光客が増えていると言っていますが、これは大野市に豊かな自然と文化があるからだと思います。

また天空の城越前大野城が最近有名になったと聞いています。

私も4回行ったことがあり、そのうち2回、雲海の中に浮かぶ大野城を見ました。とてもきれいでした。

このすてきな景色を、もっとたくさんの人に見てもらいたいと思いました。

そこで質問です。

○天空の城越前大野城をもっとアピールするために、大野市として何か考えていることはありますか。

○天空の城の後に続く大野の観光PR第2弾を考えているのでしょうか。

2 人口減少対策について

毎年、大野市の人口が減っていると聞いています。

大学でほかの県に行ったり、働くために違う市に行ったりするとも聞いています。

このまま人口減少が進むと、大野市が無くなってしまわないかと心配です。

そこで質問です。

○この先10年後、20年後の大野市の人口はどれぐらいになるのでしょうか。

○人口がこれ以上減らないように取り組んでいることを教えてください。

子ども議員質問 1 番（有終西小学校 6 年 井上鈴菜君） ---

23

1 大野に来る観光客がもっと楽しく過ごすために

私たちの学校では、観光客をよく見掛けます。

駐車場には、県外ナンバーの車もよく見ます。

でもその観光客の人たちは、本当に大野に来て楽しんでるのが気になります。

そこで、私なりに観光客が大野に来て楽しむための二つのことを提案したいのですが、できそうか質問します。

○一つ目は、空き家を子どもたちの遊び場にすることです。

空き家が増えている中、そこを子どもたちの遊び場として花を飾ったり、魚や虫を飼ったりして、家の中を子どもたちの好きなように作り直します。そして観光客や観光に来た子どもたちが、そこで遊べるようにしたり、一緒に家を造ったりして友達になれば友情の輪が広がります。

また観光に行ったとき会ったら、観光が楽しくなると思います。

○二つ目は、おおの城まつりのおおの踊りのときに、大野独特の山車を作ることです。

私たちは、5年生のとき六間通りで毎年のお盆に行われるおおの城まつりに、5年生のみんなで参加しました。大野音頭をはじめ4曲、全て踊りました。今年も西校の5年生が踊りました。

でも、昔と比べると、踊る人や観光客が減っているそうです。

そこで、ほかのお祭りや青森県のねぶた祭りのような大きな山車を作ってはどうか。その山車にはうぐピーやうめピーがいて、ちょうちんを飾るなどしてはどうか。

またうぐピーじゃなく大野にゆかりのある人物、土井利忠さんや内山良休さんなどでもどうですか。

また山車に乗っているものには福井県の物で、例えば越前和紙などにしてみるなど工夫ができると思います。どうですか。

この二つのことを提案したいのですが、できそうか質問します。

○またこのほかに大野市が観光客に楽しんでもらえるために、取り組んでいることがあれば教えてください。

大野市議会議長講評-----

24

平成 2 9 年 8 月

第 3 回子ども議会会議録

第 1 号 平成 2 9 年 8 月 1 8 日 (金)

大野市子ども議会

平成29年8月・第3回大野市子ども議会 会議録

平成29年8月18日(金)

午後1時30分 開 議

1. 議 事 日 程

- ・大野市民憲章の唱和
- ・大野市教育理念の唱和
- 第1. 議席の指定
- 第2. 会議録署名議員の指名
- 第3. 会期の決定
- 第4. 大野市長あいさつ
- 第5. 子ども議員質問
- 第6. 大野市議会議長講評

2. 出 席 議 員 (10名)

1番	井上 鈴菜 君	2番	山腰 祈愛 君
3番	吉村 美絵子 君	4番	吉川 ほのか 君
5番	木下 蓮士 君	6番	石神 にこ 君
7番	明石 七星 君	8番	服部 詩花 君
9番	山崎 誠真 君	10番	廣作 知優 君

3. 説明のため出席した者の職・氏名

市 長	岡田 高大 君	副 市 長	田中 雄一郎 君
副 市 長	今 洋佑 君	教 育 長	松田 公二 君
企画総務 部 長	畑中 六太郎 君	民生環境 部 長	坂井 八千代 君
産経建設 部 長	朝日 俊雄 君	教育委員会 事務局 長	小川市右エ門 君

消 防 長 山 田 幸 平 君 財 政 課 長 清 水 啓 司 君

4. 出席したオブザーバーの職・氏名

大野市議会 議 長	山 崎 利 昭 君	大野市議会 副 議 長	永 田 正 幸 君
大野市議会 議 員	榮 正 夫 君	大野市議会 議 員	砂 子 三 郎 君
大野市議会 議 員	畑 中 章 男 君	大野市議会 議 員	兼 井 大 君
大野市議会 議 員	島 口 敏 榮 君	大野市議会 議 員	高 岡 和 行 君
大野市議会 議 員	松 原 啓 治 君	大野市議会 議 員	藤 堂 勝 義 君
大野市議会 議 員	宮 澤 秀 樹 君	大野市議会 議 員	川 端 義 秀 君
大野市議会 議 員	梅 林 厚 子 君	大野市議会 議 員	松 田 元 栄 君
大野市議会 議 員	高 田 育 昌 君	大野市議会 議 員	廣 田 憲 徳 君
大野市議会 議 員	野 村 勝 人 君	大野市議会 議 員	堀 田 昭 一 君

5. 事務局職員出席者

局 長	岸 田 尚 悟	次 長	川 端 秀 和
次長補佐	多 田 桂 子	企画主査	松 川 正

6. 議事

(午後 1 時30分 開議)

○議会事務局長 (岸田尚悟君)

これから第3回子ども議会が開会されるわけでございますが、その前に、本日、ご出席の皆さまをご紹介させていただきます。

まず子ども議員を紹介いたします。

有終西小学校6年、井上鈴菜さん。

(井上鈴菜君 起立、礼)

(拍手、拍手、拍手)

○議会事務局長 (岸田尚悟君)

阪谷小学校6年、山腰祈愛さん。

(山腰祈愛君 起立、礼)

(拍手、拍手、拍手)

○議会事務局長 (岸田尚悟君)

富田小学校6年、吉村美絵子さん。

(吉村美絵子君 起立、礼)

(拍手、拍手、拍手)

○議会事務局長 (岸田尚悟君)

乾側小学校6年、吉川ほのかさん。

(吉川ほのか君 起立、礼)

(拍手、拍手、拍手)

○議会事務局長 (岸田尚悟君)

有終東小学校6年、木下蓮土さん。

(木下蓮土君 起立、礼)

(拍手、拍手、拍手)

○議会事務局長 (岸田尚悟君)

上庄小学校6年、石神にこさん。

(石神にこ君 起立、礼)

(拍手、拍手、拍手)

○議会事務局長 (岸田尚悟君)

下庄小学校6年、明石七星さん。

(明石七星君 起立、礼)

(拍手、拍手、拍手)

○議会事務局長 (岸田尚悟君)

小山小学校6年、服部詩花さん。

(服部詩花君 起立、礼)

(拍手、拍手、拍手)

○議会事務局長 (岸田尚悟君)

和泉小学校6年、山崎誠真さん。

(山崎誠真君 起立、礼)

(拍手、拍手、拍手)

○議会事務局長 (岸田尚悟君)

有終南小学校6年、廣作知優さん。

(廣作知優君 起立、礼)

(拍手、拍手、拍手)

○議会事務局長 (岸田尚悟君)

次に、答弁のために出席しています理事者の皆さんをご紹介いたします。

岡田高大大野市長。

田中雄一郎副市長。

今 洋佑副市長。

松田公二教育長。

畑中六太郎企画総務部長。

小川市右エ門教育委員会事務局長。

坂井八千代民生環境部長。

朝日俊雄産経建設部長。

山田幸平消防長。

清水啓司財政課長。

次に、オブザーバーとして出席の大野市議会議員を紹介いたします。

山崎利昭大野市議会議員。

永田正幸副議長。

榮 正夫議員。

砂子三郎議員。

畑中章男議員。

兼井 大議員。

島口敏榮議員。

高岡和行議員。

松原啓治議員。

藤堂勝義議員。

宮澤秀樹議員。

川端義秀議員。

梅林厚子議員。

松田元栄議員。

高田育昌議員。

廣田憲徳議員。

野村勝人議員。

堀田昭一議員。

以上で出席者の紹介を終わります。

それでは、子ども議会議長の井上さんは、議長席に着席ください。

(議長 井上鈴菜君 着席)

○議長 (井上鈴菜君)

皆さん、こんにちは。

私は、本日の議長を務めさせていただきます有終西小学校6年、井上鈴菜です。

どうぞよろしくお願ひします。

初めに、大野市民憲章と大野市教育理念を唱和しますので、皆さんお立ちください。

(全員起立)

○議長 (井上鈴菜君)

山崎誠眞さん、廣作知優さんは、議長の前の壇上をお願いします。

(山崎誠眞君 登壇)

○議長 (井上鈴菜君)

最初に、大野市民憲章を唱和します。

和泉小学校6年、山崎誠眞さんの後に続いて唱和してください。

山崎さん、お願いします。

○山崎誠眞君

大野市民憲章。

九頭竜川の上流にある大野は、清らかな水と空気に恵まれ、緑豊かな自然にはぐくまれてきました。

純朴さの中にも幕末の大野丸に象徴される進取の気象と、雪国特有のねばり強さとで、今日の繁栄を築いてきました。

私たちは、美しい自然と輝かしい伝統を受け継ぎ、住みよく生きがいのあるまちづくりを目指して、市民憲章を定めます。

一つ、みずみずしさあふれるまちに。

○全員

私たちは、美しい自然を守り、豊かな郷土をつくりまします。

○山崎誠眞君

一つ、小さな芽が伸びるまちに。

○全員

私たちは、伝統を受け継ぎ、新しい文化を育てまします。

○山崎誠眞君

一つ、大きくはばたくまちに。

○全員

私たちは、働くことに喜びを持ち、郷土の発展につとめまします。

○山崎誠眞君

一つ、あたたかい心のかようまちに。

○全員

私たちは、健康で幸せな家庭をつくり、親切の輪を広げまします。

○山崎誠眞君

一つ、明るくやすらぎのあるまちに。

○全員

私たちは、まちづくりに進んで参加し、住みよいまちを築きまします。

(廣作知優君 登壇)

○議長 (井上鈴菜君)

次に、大野市教育理念を唱和します。

有終南小学校6年、廣作知優さんの後に続いて唱和してください。

廣作さん、お願いします。

○廣作知優君

大野市教育理念。

「明倫の心を重んじ 育てよう 大野人」

○全員

人としての生きる道を明らかにし、進取の気象を育てた明倫の心は、いつの時代においても変わらない大野の学びの原点です。

私たちは、この心を大切にして、優しく、賢く、たくましい大野人になるため、学び、育てることに努めていきます。

○議長（井上鈴菜君）

皆さん、お座りください。

（全員着席）

○議長（井上鈴菜君）

山崎さん、廣作さんは自分の席にお戻りください。

（山崎誠眞君、廣作知優君 降壇）

○議長（井上鈴菜君）

これより平成29年8月第3回大野市子ども議会を開会します。

本日の議事日程は、皆さんにお配りしたとおりです。

直ちに本日の会議を開きます。

これより日程に入ります。

日程第1「議席の指定」を行います。

議席については、既にくじにより決定しておりますので、議長の私が読み上げます。

2番 阪谷小学校6年、山腰祈愛さん、

3番 富田小学校6年、吉村美絵子さん、

4番 乾側小学校6年、吉川ほのかさん、

5番 有終東小学校6年、木下蓮士さん、

6番 上庄小学校6年、石神にこさん、

7番 下庄小学校6年、明石七星さん、

8番 小山小学校6年、服部詩花さん、

9番 和泉小学校6年、山崎誠眞さん、

10番 有終南小学校6年、廣作知優さん、

そして1番、私、

有終西小学校6年、井上鈴菜をそれぞれ指定いたします。

日程第2「会議録署名議員の指名」を行います。

会議録署名議員は、議長の私が

2番 山腰祈愛さん、

3番 吉村美絵子さん

のお二人に指名します。

日程第3「会期の決定」を行います。

この子ども議会は、会期は本日1日としたと思います。

この決定は、電子採決で行います。

電子採決の準備をお願いします。

（議会事務局、電子採決の準備）

○議長（井上鈴菜君）

会期を本日1日とすることに賛成の人は、賛成ボタンを押してください。

（各議員 表決）

○議長（井上鈴菜君）

確定いたします。

（採決集計 賛成9人 反対ゼロ人）

○議長（井上鈴菜君）

全員賛成です。

よって、会期は本日1日と決定しました。

日程第4、大野市長よりごあいさつをいただきます。

大野市長、岡田高大さん。

（市長 岡田高大君 登壇）

○市長（岡田高大君）

皆さん、こんにちは。

大野市長の岡田高大でございます。

今日は、第3回大野市子ども議会に市内の小学校から10人の皆さんに出席していただきました。

これから皆さんと大野市のことについて、話し合いができると思うとワクワクしております。

皆さんがいる場所は、議場といいます。

この議場は、皆さんが安全で安心に暮らし、また大野市が発展を続けられるようにいろいろなことを話し合い、そして決定をするとても大切な場所です。

皆さんは将来、大野市がどんなまちになったら良いと考えていますか。

私は、大野市議会と話し合いをして、大野市を人や産業、そして自然が元気な「ひかりかがやき、たくましく、心ふれあうまち」にすると決めて、毎日、仕事をしています。

今日は、皆さんのいろいろな質問に一生懸

命答えて、皆さんと一緒に大野市のことを考えたいと思っています。

そして皆さんには、普段、あまり気にしていないと思いますが、大野市の人の優しさ、歴史や文化、伝統の素晴らしさ、貴重な自然環境や食べ物の恵みなど、それはあって当たり前のものではなく、お父さんやお母さん、おじいさんやおばあさん、また先生方など、多くの人が頑張ってきてきた宝物であり、とてもありがたいものであることに気付いてもらいたいと思っています。

大勢の人の前で話すのは、緊張するかもしれませんが、ゆっくり元気よく質問してください。

終わります。

○議長（井上鈴菜君）

日程第5「子ども議員の質問」を行います。

山腰祈愛さんは、質問席へお願いします。

（2番 山腰祈愛君 質問席へ移動）

○議長（井上鈴菜君）

最初に、2番、阪谷小学校6年、山腰祈愛さんが質問を行います。

（2番 山腰祈愛君 「議長」と呼ぶ）

○議長（井上鈴菜君）

山腰さん。

○2番（山腰祈愛君）

私は、2つ質問します。

一つ目は、大野の周辺村落の活性化についてです。

私は、六呂師に住んでいます。

今は、スキー場やうらら館が再開しましたが、また無くなるのではないかと心配です。

私は、六呂師が好きです。

大野市の中心以外に住んでいる人も、それぞれの地域が好きだと思います。

今後、さらに観光客が増えるPRをした方がいいのではないのでしょうか。

今現在、市ではどのようなPRをしていま

すか。

続いて、六呂師の交通手段について、質問します。

私は、近くで買い物しようとしてもお店がありません。

車でお店まで行こうとすると、20分ぐらいかかります。

私や運転のできないお年寄りが気軽に大野市内に行けるようにしてほしいです。

私たちの学校送迎のバスと一緒にお年寄りも乗り、市内まで送り、学校が終わる時間にお年寄りを乗せ、学校まで来て、六呂師と一緒に降ろしてもらえばどうですか。

これで終わります。

○議長（井上鈴菜君）

山腰さんの質問について、答弁をお願いします。

（市長 岡田高大君 「議長」と呼ぶ）

○議長（井上鈴菜君）

市長、岡田さん。

（市長 岡田高大君 答弁席へ移動）

○市長（岡田高大君）

山腰議員のご質問にお答えします。

まず「六呂師について、現在どのようなPRをしていますか」についてですが、六呂師高原には、本年2月に再開したスキー場やうらら館のほか、ミルク工房奥越前、ふるさと自然公園、福井県奥越高原牧場、福井県自然保護センターなどの施設があり、ヨーロッパのアルプス高原のような雰囲気があると、高い評価を得て、多くの観光客が訪れています。

現在、これらの施設を管理する人たちや、六呂師高原でそば打ち体験や、ツリーライミングなどの自然体験を運営している人たちなどと協力してイベントを実施したり、ゴールデンウィークや夏休みなど、季節ごとのチラシや観光パンフレットに掲載したりすることなどにより、六呂師高原の魅力をPRして

います。

今年は、9月17日から18日に六呂師高原でアルプス音楽祭を開催し、地元の野菜を販売したり、打ちたてのそばを提供したりして、地区の住民と一体となって多くの観光客のおもてなしをすることにしています。

またスキー場については、早くペアリフトを設置するよう県にお願いをしています。

六呂師高原以外では、乾側のシバザクラや西勝原のハナモモなど、地域で育てている花の開花情報や、九頭竜新緑、紅葉まつりなどのイベントなどをPRするほか、地区の祭りなどもパンフレットやホームページなどに掲載しています。

また約440年の歴史を誇るまちなかについても、マップの作成やイベントの開催などによりPRを行っています。

次に「六呂師の交通手段」について、お答えします。

現在、大野市の公共交通には、大野市から福井市や勝山市へ行く二つの広域路線バス、市内のまちなかを回るまちなか循環バス、市内の農村部とまちなかをつなぐ四つの区域の乗り合いタクシー、勝原地区、和泉地区方面へ行く四つの市営バス、和泉地区から福井市内までをつないでいるJR越美北線があります。

この中で、南六呂師方面には、乗り合いタクシーの森目・阪谷線があります。

乗り合いタクシーは、月曜日から土曜日まで、南六呂師からまちなかへ向かう便と、まちなかから南六呂師へ向かう便、それぞれ1日4便ずつありますが、日曜日、祝日、年末年始は運休しています。

乗り合いタクシーは、朝の第1便については前日の午後5時までに、それ以外の便は出発の1時間前までに電話で予約が必要です。

運賃は、南六呂師からまちなかまでは500

円で、2人以上乗車すると100円の割引があります。

これからも交通手段として乗り合いタクシーを利用していただきたいと思います。

次に「地域の方々がスクールバスを利用すること」についてですが、阪谷小学校のスクールバスは、平成18年に六呂師小学校と阪谷小学校を再編したときに取り入れたもので、南六呂師や碓（はざま）などの学校から遠い地区の子どもたちの登下校に利用しています。

阪谷小学校で利用している現在のスクールバスは、登校は25人乗りを1便、下校は9人乗りを2便運行しており、時間や本数も決まっていますので、地域の方々がスクールバスを利用することについては、登下校の影響を慎重に考えて決めていきたいと思っています。

以上です。

（2番 山腰祈愛君 「議長」と呼ぶ）

○議長（井上鈴菜君）

山腰さん。

○2番（山腰祈愛君）

これで私の質問を終わります。

○議長（井上鈴菜君）

以上で山腰祈愛さんの質問を終わります。

山腰さんは、自分の席に戻ってください。

吉村美絵子さんは、質問席へお願いします。

（3番 吉村美絵子君 質問席へ移動）

○議長（井上鈴菜君）

次に、3番、富田小学校6年、吉村美絵子さんが質問を行います。

（3番 吉村美絵子君 「議長」と呼ぶ）

○議長（井上鈴菜君）

吉村さん。

○3番（吉村美絵子君）

私は、ふるさと納税について、質問します。

7月のニュースを見ていたら、ふるさと納税の特集をしていました。

大好きな大野なので、ふるさと納税の金額

も福井県でトップ10入りしていると思いました。

しかし、トップ10に入っていないくて残念でした。

そのあと、今までトップ10に入っていないなかった坂井市の特集がありました。

どんな返礼品が喜ばれるか知恵を出し合っ
て越前ガニに変えたところ、福井県で2位に
なったそうです。

大野市は、ホームページを見てみると、サ
トイモやお酒、しょうゆ、マイタケなどを返
礼品としていることが分かりました。

私は、大野のサトイモが大好きで、ふるさ
との大野の良さを知ってもらえたり、思い出
してもらえたりする特産品の返礼品は、とて
も良いことだと思います。

ただ、もう少し注目してもらえる方法や、
全国でも有名な天空の城に関する返礼品を考
えるなどして、寄付金が多く集まるようにし
たら良いと思います。

集まった寄付金で、大野が住みやすいまち
になることを望みます。

ここで質問です。

ふるさと納税の返礼品は、どのように決め
ているのですか。

二つ目は、集まった寄付金は、どのように
使われているのですか。

これで質問終わります。

○議長（井上鈴菜君）

吉村さんの質問について、答弁をお願いし
ます。

（市長 岡田高大君 「議長」と呼ぶ）

○議長（井上鈴菜君）

市長、岡田さん。

（市長 岡田高大君 答弁席へ移動）

○市長（岡田高大君）

吉村議員のご質問にお答えします。

ふるさと納税は、ほかの市町村に住んでい

る人が生まれ育ったふるさとや、自分の考え
で選んだ都道府県や、市町村に寄付すること
を通して応援する制度としてつくられました。

大野市では、寄付していただいたお礼とし
て、大野の優れた農作物やお菓子などの特産
品を選んでいただいています。

特にサトイモ、コメ、しょうゆ、日本酒な
どが人気で、広く大野市を知ってもらいきっ
かけとなっています。

ご質問のありました「返礼品はどのように
決めているのか」につきましては、大野市内
で生産や加工、販売などが行われているもの
や、市内で生産された材料を使用しているもの
など、幾つかの条件に合う商品を市内のお店
などから提案していただき、決定していま
す。

決定された返礼品をインターネットの専用
ホームページに掲載することで、寄付をした人
が寄付の金額によって商品を選ぶことができ
る仕組みとなっています。

なお昨年の4月から今年3月までの1年間
に全国から集まった寄付が1,222件あり、寄
付金額の合計は2,987万2,000円でした。

集まった寄付金は、大野市のまちづくりに
幅広く活用する資金として、地域振興基金と
いう基金に積み立てて、さまざまな活動に使
っています。

その中には、大野市に自信と誇りを持って
住み続けてもらうことを目的に、水をテーマ
に研究している大学や企業と協力したり、安
全な水に恵まれない東ティモール民主共和国
という国の水道を整備したりする水への恩返
しキャリングウォータープロジェクトや、仮
の名前ですが、重点道の駅「（仮称）結の故
郷」の建設に向けた資金などが含まれていま
す。

そして寄付をしていただいた人には、寄付
金の使い道をお知らせして、引き続き大野市

を応援していただくようお願いしています。

今後も大野の良さを知ってもらえるよう魅力ある返礼品を増やすとともに、たくさんの方に寄付していただけるよう広く宣伝していきたいと考えています。

(3番 吉村美絵子君 「議長」と呼ぶ)

○議長(井上鈴菜君)

吉村さん。

○3番(吉村美絵子君)

再質問をします。

集まった寄付金は、教育には使われているのでしょうか。

(副市長 田中雄一郎君 「議長」と呼ぶ)

○議長(井上鈴菜君)

副市長、田中さん。

○副市長(田中雄一郎君)

再質問にお答えをいたします。

今ほど、岡田市長がご答弁申し上げましたとおり、いろいろな大野を良くするためのことに使っておりますけれども、直接、現在までのところ、教育関係の経費には充当といえますか、使ってはおりません。

(3番 吉村美絵子君 「議長」と呼ぶ)

○議長(井上鈴菜君)

吉村さん。

○3番(吉村美絵子君)

これで質問を終わります。

○議長(井上鈴菜君)

以上で吉村美絵子さんの質問を終わります。

吉村さんは、自分の席に戻ってください。

吉川ほのかさんは、質問席へお願いします。

(4番 吉川ほのか君 質問席へ移動)

○議長(井上鈴菜君)

次に、4番、乾側小学校6年、吉川ほのかさんが質問を行います。

(4番 吉川ほのか君 「議長」と呼ぶ)

○議長(井上鈴菜君)

吉川さん。

○4番(吉川ほのか君)

私は、大野市の人口を増やすための土地の利用について、質問します。

大野には、田んぼがたくさんあります。

調べてみると、名古屋ドーム約830個分もあります。

田んぼがたくさんあると、自然がいっぱいで良いと思います。

しかし、大野市の人口はどんどん減ってきています。

そこで質問をします。

大野市の人口が増えるように、市としてどんな対策をしているのですか。

私は、大野市には田んぼなど広い土地がたくさんあるので、ほかの県にはない珍しい場所をつくれれば観光客も増えると思います。

そして大野市に住んでいる私たちにとっても、住みやすい施設を造るといいと思います。

例えば大型のショッピングセンターなどです。

大野市にはヴィオがありますが、福井のエルパに行く人がたくさんいます。

それはヴィオで買えない物がエルパでは買えたり、エルパの方がお店の数が多いからだと思います。

また観光客がたくさん来るように、大野の名産を作ることができる場所や、子どもがたくさん来るように、遊園地などを造るといいと思います。

このように広い土地を利用して、大野に暮らしている人も住みやすい場所をつくと良いと思います。

このことについて、大野市の意見をお聞かせください。

これで質問を終わります。

○議長(井上鈴菜君)

吉川さんの質問について、答弁をお願いします。

(市長 岡田高大君 「議長」と呼ぶ)

○議長(井上鈴菜君)

市長、岡田さん。

(市長 岡田高大君 答弁席へ移動)

○市長(岡田高大君)

吉川議員のご質問にお答えします。

日本では、平成20年ごろから人口が減っていく人口減少社会に突入したといわれています。

議員の皆さんが2歳か3歳のころになります。

大野市では、昭和40年に5万596人であった人口が、平成27年の国の調査では3万3,109人となり、50年間で約34.6%減少しています。

国の人口を研究する機関が予測した将来の人口では、今から23年後に2万1,525人まで減るといわれています。

日本全体の人口が減る中で、大野市として人口を増やすことは難しいと思いますけれども、人口が減るスピードを緩やかにするなどして活力を維持するために、さまざまな取り組みを進めています。

例えば若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえるため、結婚してもらうきっかけとなる出会いの場をつくったり、結婚した家庭や子どもが生まれた家庭に、市内のお店で使える商品券をお配りしたりしています。

また建設が進められている中部縦貫自動車道などを使って市外から新しい人が入ってくる流れをつくるため、市内でのイベントを実施したり、大野市へ移り住む人を増やすための住宅を整備したりしています。

さらに水への恩返しキャリングウォータープロジェクトという取り組みを進めています。

これは普段、当たり前として使っている水をとっても貴重でありがたいものであることに気付くとともに、そのありがたさを結の心を

持って世界に恩返ししていこうという取り組みです。

大野市は、全国から見れば小さな市ですが、その宝である水の恵みと感謝の思いを国内外へ広く伝えるため、アジアで一番、安全な水の確保に苦しんでいる国である東ティモールを支援することなどを行っています。

そのことを通じて大野市の良さに自信と誇りを持って住み続けてもらうことや、国際的に水の聖地として大野が認められ、水に関係する人や物、お金が大野を中心に交流して、新たな人々が行き交うようになることなどを目的としています。

次に「広い土地を利用してはどうか」というご質問にお答えします。

大野市の面積は872.43平方キロメートルで、福井県の約5分の1の広さを占めています。

県内では、面積が1番大きな市ですが、87%が森林で、田んぼや畑は5%しかありません。

田んぼや畑などは、自然を守り、大野の風景を守るとても大切なものですから、よく考えてから利用する必要があります。

どこにでもあるようなショッピングセンターや、大きな建物などを建てることは、大野ならではの伝統や自然、風景といった魅力を無くしてしまうことになるため、これからの時代においては逆効果になるのではないかと考えています。

このため、そのような建物を建てることは、制限を設けています。

伝統を大事にし、自然の中で生活できるなど、豊かなものがある方が素晴らしいことであると考えており、その上で本当に必要なものをつくるために土地を利用することが大事であると思っています。

大野市の人口を増やすための土地の利用の例ですが、一つ目として産業団地の整備があ

ります。

大野市に人が住み続けるためには、働く場所が必要です。

そのため、広い土地を利用して、いろいろな会社などが建てられるよう産業団地を造っているところでは。

二つ目として、まだ仮の名前ですが、重点道の駅「(仮称)結の故郷」の建設があります。

たくさんの方が集まる重点道の駅を整備して、大野の名物や魅力ある商品の販売をすることで、大野市のアピールができます。

またもっと大野市を知ってもらうために、重点道の駅を出発点として、大野市内の魅力ある場所を見に行ってもらえるような仕組みをつくりたいと考えています。

こうした取り組みにより、人口が減っても新しく大野市で働きたいと思う人や、観光で訪れる人が増え、にぎやかな元気なまちになるものと考えています。

今後も大野市の将来のことをよく考えた上で、土地を利用していきたいと思います。

以上です。

(4番 吉川ほのか君 「議長」と呼ぶ)

○議長(井上鈴菜君)

吉川さん。

○4番(吉川ほのか君)

これで質問を終わります。

○議長(井上鈴菜君)

以上で吉川ほのかさんの質問を終わります。

吉川さんは、自分の席に戻ってください。

木下蓮士さんは、質問席へお願いします。

(5番 木下蓮士君 質問席へ移動)

○議長(井上鈴菜君)

次に、5番、有終東小学校6年、木下蓮士さんが質問を行います。

(5番 木下蓮士君 「議長」と呼ぶ)

○議長(井上鈴菜君)

木下さん。

○5番(木下蓮士君)

私は、大野市の小学校編成について、質問します。

私は、大野市の小学校が10校から2校になると聞いています。

私は、この意見に賛成でもあり反対でもあります。

人口が減ってきているので、小学校を合併して1校の人数を増やせばにぎやかになると思いますが、自分たちの母校が無くなるのは嫌です。

そこで質問します。

学校の場所によっては、歩きで登校するとすごく時間がかかる場所があると思うのですが、どう考えていますか。

自分たちの母校の名残を残してもらえますか。

小学校を建てる場所はあるのですか。

これで終わります。

○議長(井上鈴菜君)

木下さんの質問について、答弁をお願いします。

(市長 岡田高大君 「議長」と呼ぶ)

○議長(井上鈴菜君)

市長、岡田さん。

(市長 岡田高大君 答弁席へ移動)

○市長(岡田高大君)

木下議員のご質問にお答えします。

まず再編による登校時間についてですが、教育委員会は、小中学校の皆さんがより良い教育環境で、より多くの友達と楽しく充実した学校生活を送ることができるように、今年1月に大野市小中学校再編計画を立てました。

再編計画では、小学校10校を2校に再編し、新しい小学校を建てることとしています。

そのため「新しい学校を建てる場所によっては、登校に時間がかかってしまうのではな

いか」と、木下議員は心配されているのだと思います。

小学校を2校に再編することで、校区が広くなり、今、住んでいる場所から学校が遠くなる場合は、スクールバスなどで対応しながら、登校に時間がかからないようにしていきたいと考えています。

なお教育委員会では、地区ごとにスクールバスの運行コースを工夫したり、低学年や高学年がそれぞれの下校時刻に帰れるように、スクールバスの台数を増やしたりしていくと聞いています。

次に「母校の名残」について、お答えします。

再編計画に基づいて、新しい学校を建てる際には、学校教育の専門の先生などの方々からご意見をいただきながら、具体的な計画を立てていくことになると思っています。

その計画の中で、それぞれの小学校の持っていた良さなども引き継ぐよう検討していきたいと考えています。

例えば現在、木下議員の学校で取り組んでいる伝統芸能を学んだり、大野の川を調査研究したりするふるさと学習を新しい学校でも取り入れ、議員が今、住んでいる地区の誇りと愛着を持ち続けられるよう努力していくことが必要だと思います。

次に「小学校を建てる場所」について、お答えします。

小学校を建てる場所については、今後、区長会やPTAなどの代表の方々と十分に話し合いながら決めていきたいと考えています。

教育委員会では、素晴らしい学習環境で、将来を担う大野っ子が、どんな社会に出ようとも、自分の意思で行動ができ、自分の思いを多くの人に伝え、みんなで助け合いながら問題を解決することができる子に育ててほしいと願っており、私もこの思いは同様であり、

今後も大野市の教育環境が充実し、魅力ある学校になるよう努力していきたいと思っています。

以上です。

(5番 木下蓮士君 「議長」と呼ぶ)

○議長(井上鈴菜君)

木下さん。

○5番(木下蓮士君)

再質問をします。

授業を教えてくれる先生の人数などは足りているんですか。

(教育長 松田公二君 「議長」と呼ぶ)

○議長(井上鈴菜君)

教育長、松田さん。

○教育長(松田公二君)

学校にはね、それぞれ子どもの数に応じて先生の数が決まっています。

ですので、どんな学校になっても、きちんと必要な数の先生方が配置されます。

(5番 木下蓮士君 「議長」と呼ぶ)

○議長(井上鈴菜君)

木下さん。

○5番(木下蓮士君)

これで質問を終わります。

○議長(井上鈴菜君)

以上で木下蓮士さんの質問を終わります。

木下さんは、自分の席に戻ってください。

石神にこさんは、質問席へお願いします。

(6番 石神にこ君 質問席へ移動)

○議長(井上鈴菜君)

次に、6番、上庄小学校6年、石神にこさんが質問を行います。

(6番 石神にこ君 「議長」と呼ぶ)

○議長(井上鈴菜君)

石神さん。

○6番(石神にこ君)

私は、二つ質問します。

一つ目は、大野市の小学校を2校にするこ

とについてです。

9年後に大野市の小学校を2校にすると聞いています。

このままいくと、上庄小学校が無くなってしまおうと聞きました。

私は、上庄小学校が好きで、無くなってしまおうと、とても寂しいです。

今、上庄小学校では上庄地区を盛り上げるために麻那姫音頭を踊ったり、6年生で夏祭りにお店を開いたりしています。

そこで質問します。

どうして地区の学校を無くして、2校にしようと思ったのですか。

上庄小学校が無くなってしまったとしても、上庄地区を盛り上げられるようにどんなことをしていただけますか。

続いて、二つ目の質問をします。

二つ目は、大野市のPRについてです。

大野市には、天空の城や名水があります。

またそれぞれの地区にも特産物などがあります。

私の住んでいる上庄地区には、上庄サトイモがあります。

私は、大野市にたくさんの観光客に来てほしいと思っています。

そこで質問します。

大野市をPRするために、市役所では何をしていますか。

今後、大野市をPRしていく中で、何か課題はありますか。

これで終わります。

○議長（井上鈴菜君）

石神さんの質問について、答弁をお願いします。

（市長 岡田高大君 「議長」と呼ぶ）

○議長（井上鈴菜君）

市長、岡田さん。

（市長 岡田高大君 答弁席へ移動）

○市長（岡田高大君）

石神議員の質問にお答えします。

まず「大野市の小学校を2校にすること」についてですが、教育委員会は今年1月に大野市小中学校再編計画を立てました。

その中で、平成35年に5校ある中学校を1校に、平成38年に10校ある小学校を2校にすることとしています。

小学校10校を2校にする大きな理由は、皆さんが適切な大きさの集団の中で学ぶことのできる学校をつくるためです。

多くの友だちと触れ合い、お互いの考えを述べ合ったり、集団で活動したりして、大人になる基礎を築くためには、より多くの集団の中で学び、磨き合い、高め合うことがとても大切です。

しかし、全国的に少子化、高齢化が進み、大野市でも児童数が少なくなり、学校の大きさが小さくなってきています。

大野市の小学校全体では、平成元年に3,320人いた児童が、28年経った現在では、1,526人と半数以下に減少しています。

議員が通っている上庄小学校でも、平成元年には373人いた児童が、現在139人と約3分の1近くまで減少しています。

さらに、今後も市全体の児童数は減り続けていくと予想されています。

このように1クラスの人数が少なくなると、複数のグループを作った話し合い活動や、体育の授業でのチームゲーム、音楽の授業での合唱などで、学習の効果が挙がりにくくなることがあると聞いています。

これらのことを解決するために、教育委員会では3年半かけて、地域の方々からご意見をお聞きしたり、専門の委員会で話し合ったりしました。

その結果、1学年が3クラスか、4クラス程度の大きさの小学校を2校にする計画が最

適と決まりました。

今後、学校の建設場所を決めたり、スクールバスのコースを決めたり、また再編する学校同士の交流を行うなどして、安心して新しい学校がスタートできるように、区長会やPTAの代表者などの方々とも十分相談しながら、準備を進めていただきたいと思います。

次に「上庄小学校が無くなったときの地区の盛り上げ方」について、お答えします。

地区を盛り上げていくには、まずその地区に住む一人一人が地区を盛り上げるように努力することが必要だと思います。

石神議員が麻那姫音頭を踊ったり、夏祭りで出店をしたりして、地区を盛り上げようとしている姿は大変尊く、立派なことだと思います。

教育委員会では、新しい学校においても校区内の人や歴史、文化、伝統、自然環境、食などの魅力を学び、体験する、ふるさとを知り、ふるさとを創る学習を、これまでどおり進めていくとのことでした。

例えば石神議員が上庄地区以外に伝わる鉾踊りや雨乞い踊りを学んだり、他の地区の児童が上庄地区の麻那姫音頭を学んだりして、再編した後も校区内の地域と子どもたちのつながりを大切に、ふるさとの誇りと愛着を深めてもらうような取り組みを行うと聞いています。

これからも大野市の良いところをたくさん学習して、みんなの力で大野市全体を盛り上げていただきたいと思います。

次に「大野市のPR」について、お答えします。

まずPRの方法としましては、大きく三つあります。

一つは、市の職員などが直接、東京や大阪などの都会へ行って、向こうの人たちに上庄

サトイモや、天空の城越前大野城などの大野の宝を紹介することです。

二つ目は、近年、世界中でスマートフォンが普及し、誰もが気軽にインターネットを利用できるようになりました。

それに伴い、ソーシャル・ネットワーキング・サービスのフェイスブックやインスタグラムなどが流行しており、これらを活用してPRする方法があります。

大野市では、結の故郷越前おおのという名前でフェイスブックに登録し、イベント情報などを発信しています。

天空の城の写真などは、日本国内ばかりでなく、たくさんの海外の方にも見ていただき、コメントをいただいたりしています。

また海外の方に向けてのPRとしては、大野市の公式ホームページや大野市観光協会のホームページを英語や中国語、韓国語で見ることができるようにしています。

三つ目は、皆さんになじみのあるテレビや新聞、雑誌などを通して、大野の情報をPRすることです。

テレビや新聞などはメディアと呼ばれ、日本や世界中にさまざまな情報を発信する仕事をしており、多くの人に視覚や聴覚を通して分かりやすく情報発信しています。

大野市では、メディアの皆さんに大野市を取り上げてもらい、日本中の人たちに大野市をPRするため、テレビのコマーシャルを制作したり、新聞に広告記事を掲載してもらったりしています。

またメディアの方から、ニュースやテレビ番組などで大野市を取り上げたいと思ってもらえるような働き掛けも進めています。

取り組みの一つの例をお話ししますと、大野市では、越前おおのブランド戦略という計画を作って、大野の人や歴史、文化、伝統、自然、食べ物などの素晴らしいものの全部を

越前おおのブランドとして磨き上げて、全国の皆さんに魅力を感じてもらえるように取り組みを進めています。

例えば越前大野城は、昔からありましたが、現在ほどメディアに取り上げられることはありませんでした。

それが市民の方が撮影した1枚の天空の城の写真をきっかけに、雲に浮かぶ天守閣が見たこともない絶景として、たくさんのメディアに取り上げられました。

これが既にある地域の宝が磨かれた例です。

そしてこのように磨き上げた大野の宝をメディアに知っていただくため、大阪や名古屋にあるテレビ局などに情報をお届けしたり、訪問して直接PRしたりしています。

次に「大野市をPRしていく中での課題」について、お答えします。

先にもお話しましたとおり、人や歴史、文化、伝統、自然、食べ物など、大野市の地域の宝を磨き、魅力的に思ってもらえる取り組みを進めたことから、テレビや雑誌などに大野を取り上げてもらえたり、市民や観光客などのソーシャル・ネットワーキング・サービスを通じた口コミにより、PRしていただいたりする機会が増え、それに伴って大野を訪れる観光客も増えています。

しかし、もっとたくさんの観光客に訪れてもらうには、今以上にメディアや口コミにより大野市が紹介される必要があります。

そのためには、その方たちが取り上げたいと思ってもらえる新しい取り組みや、価値を感じ取ってもらえる取り組みを行う必要があります。

例えば全国で大野が一番になったり、全国を探しても大野にしかないものがあつたりすると、取り上げられる可能性があります。

つまり、今ある大野の宝を、より魅力あるものにしていくことが課題であり、必要なこ

とであります。

この7月8日には、北陸自動車道の福井北インターチェンジと大野インターチェンジがつながり、北陸自動車道から直接大野市へ来ることができるようになりました。

また平成34年度には、北陸新幹線が敦賀まで開業する予定です。

そして同じく平成34年度中に、中部縦貫自動車道大野インターチェンジと岐阜県の白鳥インターチェンジとが開通するよう国に強くお願いをしていますし、大野市も国や県と協力をして取り組んでいます。

このように、これからますます関東、中京、関西から大野市への移動は便利になり、たくさんの人が大野へ来やすくなり、大野がこれまで以上に元気になるチャンスが増えてきます。

このチャンスを生かし、全国の方に大野市を知っていただき、大野へ行こうと思っただけよう皆さんと一緒に地域の宝を磨き、PRしていきたいと考えています。

(6番 石神にこ君 「議長」と呼ぶ)

○議長(井上鈴菜君)

石神さん。

○6番(石神にこ君)

これで私の質問を終わります。

○議長(井上鈴菜君)

以上で石神にこさんの質問を終わります。

石神さんは、自分の席に戻ってください。

○議長(井上鈴菜君)

会議の途中ですが、しばらく休憩いたします。

(午後2時24分 休憩)

(午後2時35分 再開)

○副議長(石神にこ君)

ここからは、私、副議長の上庄小学校6年、

石神にこが会議を進行いたします。

休憩前に引き続き会議を開きます。

明石七星さんは、質問席へお願いします。

(7番 明石七星君 質問席へ移動)

○副議長(石神にこ君)

次に、7番、下庄小学校6年、明石七星さんが質問を行います。

(7番 明石七星君 「議長」と呼ぶ)

○副議長(石神にこ君)

明石さん。

○7番(明石七星君)

大野市の取り組みについて、質問と要望をします。

一つ目は、来年度の福井国体に向けての大野市の取り組みについての質問です。

来年度、福井国体が開催されます。

大野市は、自転車、相撲、カヌーの競技が開催されますが、その選手や観客に大野市の良い所を知ってもらうために、どのような取り組みを考えていますか。

大野市は人口が減ってきているので、ほかの都道府県から来てもらえる福井国体は、大野市をアピールできる良いチャンスだと思います。

二つ目は、下庄公民館前の歩行者信号について、要望です。

毎朝、私は下庄公民館前の信号を利用して登校します。

そのときに、青の時間が短く、登校班全員が1回で渡り切れません。

その通りは、交通量が多いので、車を優先させるのだと思いますが、赤の時間が約1分に対し、青になってから点滅するまで約15秒しかありません。

そこで次のような要望をします。

交通量が多い通りを通る車を優先させる理由は分かりますが、せめて私たちが登校する時間だけでも青の時間を少し長くしていただ

けませんか。

これで質問と要望を終わります。

○副議長(石神にこ君)

明石さんの質問について、答弁をお願いします。

(市長 岡田高大君 「議長」と呼ぶ)

○副議長(石神にこ君)

市長、岡田さん。

(市長 岡田高大君 答弁席へ移動)

○市長(岡田高大君)

明石議員のご質問にお答えします。

まず「福井国体に向けての大野市の取り組み」についてですが、平成30年9月29日から10月9日まで行われる福井しあわせ元気国体や、10月13日から15日まで行われる福井しあわせ元気大会では、大野市に選手、監督など大会関係者や応援の方々が多く訪れることから、大野市の恵まれた自然や歴史、文化などの魅力を発信する絶好の機会として、PR活動などに積極的に取り組んでいきたいと考えています。

その方法としては、大会関係者を温かくお迎えするため、競技会場から市内の観光スポットや市街地などへの道沿いに、のぼりや歓迎の飾り付けをして、おもてなしを行います。

そして競技会場などでは、観光情報などを紹介する案内所や、郷土の土産物などを紹介、販売する売店を設置し、再び大野市を訪れてもらうためにも、観光パンフレットなどを配ることも考えています。

また国体が盛り上がるよう市民運動として、きれいな花で選手などをお迎えする花いっぱい運動、地域をきれいにするクリーンアップ運動、市民がおもてなしや受付、環境美化などに分かれて行う市民ボランティアなど、多くの活動を行うこととしています。

大野市では、福井県外から訪れる方だけではなく、県内の方にも国体の際に大野市を訪

れてもらおうと、広報活動を行っています。

市民や学校の皆さんに対しては、福井県と連携して広報紙「はびねすマガジン」を配っていますし、大野市でもホームページや市報、チラシでお知らせし、テレビ番組、新聞でも広くお伝えしています。

またイベントでは、マスコットキャラクター「はぴりゅう」などを登場させたり、キャラクターグッズを配ったりと積極的に活動しています。

今後もいろいろな機会を捉えてPR活動を行い、国体の盛り上がりにつながるよう積極的に取り組みたいと考えています。

次に「下庄公民館前の歩行者信号」について、お答えします。

信号の時間は、信号機の設置、管理をしている公安委員会が、車も人も安全に通行できるように、それぞれの交差点の形や車や人の通行量などを調べて決めています。

明石議員のご要望である「歩行者信号の青の時間を長くしてほしい」ことを、公安委員会の窓口であります大野警察署の方にお伝えしたところ、次のような返事をいただきました。

下庄公民館前の道路は、車の通行量が多いことなどから、歩行者信号の青の時間を現在の時間に設定しているとのことでした。

しかし、児童の皆さんが登校のときに困っているということですので、もう一度、車や人の通行量を調べ、青の時間を長くしても交通の流れがスムーズにいくかなどの安全を確認し、長くできるかできないかをお知らせしたいとのことでした。

大野市も児童の皆さんが安全に通学できるように、警察署や公安委員会と協力していきますので、皆さんも信号は必ず守る、横断歩道では左右を良く確認し、2列になるなど列を短くして安全に横断するなど、交通安全に

十分気を付けるようお願いいたします。

終わります。

(7番 明石七星君 「議長」と呼ぶ)

○副議長 (石神にこ君)

明石さん。

○7番 (明石七星君)

これで質問と要望を終わります。

○副議長 (石神にこ君)

以上で明石七星さんの質問を終わります。

明石さんは、自分の席に戻ってください。

服部詩花さんは、質問席へお願いします。

(8番 服部詩花君 質問席へ移動)

○副議長 (石神にこ君)

次に、8番、小山小学校6年、服部詩花さんが質問を行います。

(8番 服部詩花君 「議長」と呼ぶ)

○副議長 (石神にこ君)

服部詩花さん。

○8番 (服部詩花君)

水のことについて、質問します。

4年生の社会科学習で、大野の一部地域では、冬に水枯れが起きていると学習しました。

今現在、地下水を利用できない家はどれぐらいあるのですか。

また地下水が使えなくなったらどうしますか。

1学期に学校でキャリングウォータープロジェクトがあり、東ティモールから来られたエゴ・レモスさんのお話を聞きました。

今、大野市ではどんな活動や支援をしているのですか。

ほかの国に支援を広げていくつもりはありますか。

また水の精みずのめぐみんというキャラクターは、どうやってできたのですか。

○副議長 (石神にこ君)

服部さんの質問について、答弁をお願いします。

(市長 岡田高大君 「議長」と呼ぶ)

○副議長(石神にこ君)

市長、岡田さん。

(市長 岡田高大君 答弁席へ移動)

○市長(岡田高大君)

服部議員のご質問にお答えします。

まず「現在、地下水を利用できない家はどれくらいあるのですか」についてですが、大野市では、上水道を利用している人の割合が約20%で、残りの80%の人は、何らかの形で地下水を利用しています。

また全世帯の約70%で地下水をくみ上げるための井戸があり、その本数は約8,000本あります。

現在、これらの井戸について、地下水を利用できない家はありません。

しかし、昭和40年代後半から50年代には、地下水位が下がる冬場を中心に井戸枯れが発生しました。

そこで、市では新しく地下水をくみ上げる場合に届け出をしてもらうことや、雪を溶かすために地下水を使わないこと、地下水の水位や水質などの監視を行うことなど、地下水を守るための仕組みを定めました。

また冬の間には田んぼに水を張り、地下に水を浸み込ませて地下水の低下を抑えたり、地下水を蓄える役割を持つ山林を守るための仕組みを定めたりする取り組みなども行っています。

市民の取り組みとしては、各地の清水の清掃活動などがあります。

このように、再び井戸枯れが発生しないよう、市民と大野市および関係機関が一緒になって地下水の保全活動を行うことで、地下水が守られています。

「地下水が使えなくなったらどうしますか」という質問についてですが、このようなことがないよう地下水の使用量を抑えるため、市

民には上水道への加入をお願いしております。

また市民には、水を出しっ放しにしないなど、節水に心掛けてほしいと考えております。

次に「大野市では、どんな活動や支援をしているのですか」と「ほかの国に支援を広げていくつもりはありますか」についてですが、現在、大野市では日本ユニセフ協会を通じて平成28年から3年間、東ティモールへ年間2基の水道給水施設を支援することにしてい

ます。東ティモールは、アジアで一番、安全な水の確保に苦しんでいる国であり、水くみのために学校に通えない子どもたちが数多くいます。

1年目の支援による水道給水施設は、今年の9月には完成予定と聞いていて、完成により子どもたちが学校に通えるようになるほか、村で子どもを産むことができるようになるなど、現地の状況が改善されることを期待しています。

そのほか、東ティモールの子どもたちとの交流や3年後に開催される東京オリンピック、パラリンピックの選手の招待などにも取り組むこととしていますが、ほかの国の支援については、今のところ考えていません。

最後に「水の精みずのめぐみん」はどうやってできたのですか」についてですが、このみずのめぐみんは、水への恩返しキャラクタウオータープロジェクトの目的や活動内容を伝えるためのキャラクターとして誕生しました。

恐竜の時代から大野市全体に水を運んで巡り続ける水の妖精として、大野に伝わる木彫りの雪人形を参考にしてデザインされており、みずのめぐみんという名前は、市内の小中学生の1,400点の応募の中から選ばれました。

以上です。

(8番 服部詩花君 「議長」と呼ぶ)

○副議長（石神にこ君）

服部さん。

○8番（服部詩花君）

これで私の質問を終わります。

○副議長（石神にこ君）

以上で服部詩花さんの質問を終わります。

服部さんは、自分の席に戻ってください。

山崎誠眞さんは、質問席へお願いします。

（9番 山崎誠眞君 質問席へ移動）

○副議長（石神にこ君）

次に、9番、和泉小学校6年、山崎誠眞さんが質問を行います。

（9番 山崎誠眞君 「議長」と呼ぶ）

○副議長（石神にこ君）

山崎さん。

○9番（山崎誠眞君）

二つ質問します。

一つ目は、建設中の中部縦貫道についてです。

私たちの住んでいる和泉地区では今、道路工事が盛んに行われています。

新しい道路が完成したら、市街地や福井の方まで行くのが今よりもっと便利になることを思うと、早くできてほしいなど待ち遠しい気持ちになります。

でも、疑問に思うことがあるので質問します。

中部縦貫道が完成したら、有料になるのですか。

もし有料になるとしたら、いつごろになるのですか。

有料化になれば、大野まで出掛けるときには、今までと同じように国道を通行した方が良いという考えもあります。

これでは、今までと変わらないと思うので、和泉から大野間だけ無料や割引にするというような和泉地区の住民にサービスをするような方法を考えていますか。

これで終わります。

（議会事務局長 「二つ目も」と促す）

○9番（山崎誠眞君）

二つ目の質問をします。

福井しあわせ元気国体についてです。

来年度は、福井国体があります。

和泉地区もカヌーの会場になっていて、4月にはプレ大会も行われました。

学級では、都道府県ののぼり旗をみんなで書き、国体に向けて盛り上がっているのを感じています。

福井国体のことで疑問に思ったことがあるので、質問をします。

福井しあわせ元気国体で、大野市をPRするような取り組みはしているのですか。

和泉地区はカヌー競技の会場になっていますが、国体が終わった後は、どのようになるのですか。

私からの提案ですが、和泉のカヌー会場をカヌー競技だけでなく、川辺でできるスポーツや、川遊びなどを気軽に体験できる場所にしてほしいです。

そうすれば、たくさんの方がカヌー競技だけでなく、和泉地区のことも知ってもらえるからです。

これで終わります。

○副議長（石神にこ君）

山崎さんの質問について、答弁をお願いします。

（市長 岡田高大君 「議長」と呼ぶ）

○副議長（石神にこ君）

市長、岡田さん。

（市長 岡田高大君 答弁席へ移動）

○市長（岡田高大君）

山崎議員のご質問にお答えします。

まず建設中の中部縦貫自動車道についてですが、和泉地区にお住まいの皆さんには、中部縦貫自動車道が完成することで、安全で安

心な交通が確保されることとなります。

そして大野市全体にとって、中部縦貫自動車道は、地域振興や産業経済の発展、救急病院搬送時の時間短縮、さらに地震など災害時の緊急輸送について、重要な役割を持った道路です。

去る7月8日には、大野市民にとって待ちに待った中部縦貫自動車道の大野インターチェンジから福井北インターチェンジまでの26.4キロメートルが全線開通し、北陸自動車道から直結できたことで、これまで以上に通行量が増えています。

大野インターチェンジから油坂出入口までの残る35キロメートルの全線開通についても、引き続き国に強くお願いしています。

ご質問の「中部縦貫自動車道が完成したら有料になるのですか」につきましては、福井北インターチェンジから岐阜県の白鳥インターチェンジまでの区間は、全線開通後も無料になると国から聞いています。

次に、福井しあわせ元気国体について、お答えします。

「大野市をPRする取り組み」についてですが、下庄小学校の明石議員からの質問と同じ内容ですので、特に小学校や中学校の皆さまを対象とした取り組みについて、お答えします。

大野市の魅力は、恵まれた自然や歴史、文化などたくさんありますが、結の心を持った大野人の温かい人柄も全国に誇れるものと思っています。

特に国体を機に小学生や中学生の皆さまにも関わってもらい、大野人の結の心を全国からお迎えした方に感じ取ってもらいたいと考えています。

そこで小学生には大野市内の全校に、国体で全国から訪れる選手の応援のためにのぼりを作ってもらい、それを道沿いや競技会場な

どに掲げていきます。

既に多くのカラフルなぼりが作られており、おもてなしの気持ちがこもったものとなっています。

そして大野市では、国体PRポスターを製作するため、小学校4年生から中学校3年生までの皆さまを対象として、夏休み期間中を利用してポスターの原画をデザインしてもらうコンクールを実施していますので、ぜひ応募してほしいと思っています。

その最優秀作品を国体PRポスターとして作成し、大野市内の多くの場所で目にされるようPRを進めることとしています。

元気国体が行われる平成30年度には、さらにいろいろと国体の盛り上げにつながるイベントなどを行いますので、皆さまにもぜひ参加してほしいと考えています。

そして国体の競技は平日にも行われますが、小学生や中学生の皆さまにも国体の競技を観戦し、会場で応援することができるよう学校の先生などと打ち合わせを行う予定です。

選手と小中学生の皆さまが応援などを通して触れ合うことにより、大野市の良さの一つとして大野人の温かさをPRできる機会と考えています。

次に「国体終了後のカヌー会場」について、お答えします。

国体のカヌー会場につきましては、九頭竜川の管理者である福井県との話し合いで、九頭竜国民休養地に国体を行うために仮のコースを作り、国体が終わった後には、元の姿に戻すことに決まっています。

ご提案の「カヌー会場を川辺でできるスポーツや川遊びなどを気軽に体験できる場所」につきましては、元の九頭竜川の状態の中で、工夫してスポーツや体験活動をしていただきたいと思います。

以上です。

(9番 山崎誠眞君 「議長」と呼ぶ)

○副議長(石神にこ君)

山崎さん。

○9番(山崎誠眞君)

これで私の質問を終わります。

○副議長(石神にこ君)

以上で山崎誠眞さんの質問を終わります。

山崎さんは、自分の席に戻ってください。

廣作知優さんは、質問席へお願いします。

(10番 廣作知優君 質問席へ移動)

○副議長(石神にこ君)

次に、10番、有終南小学校6年、廣作知優さんが質問を行います。

(10番 廣作知優君 「議長」と呼ぶ)

○副議長(石神にこ君)

廣作さん。

○10番(廣作知優君)

二つ質問をします。

一つ目が観光客増加についてです。

私の祖父は、観光ボランティアガイドをしています。

年々観光客が増えていると言っていますが、これは大野市に豊かな自然と文化があるからだと思います。

また天空の城越前大野城が最近有名になったとも聞いています。

私も4回行ったことがあり、そのうち2回、雲海の中に浮かぶ大野城を見ることができました。

とてもきれいでした。

このすてきな景色を、もっとたくさんの人に見てもらいたいと思いました。

そこで質問です。

天空の城越前大野城をもっとアピールするために、大野市として何か考えていることはありますか。

また天空の城の後に続く大野の観光PR第2弾を考えているのでしょうか。

続いて、二つ目の質問をします。

人口減少対策についてです。

毎年、大野市の人口が減っていると聞いています。

大学でほかの県に行ったり、働くために違う市に行ったりするとも聞いています。

このまま人口減少が進むと、大野市が無くなってしまわないかと心配です。

そこで質問です。

この先10年後、20年後の大野市の人口はどれぐらいになるのでしょうか。

また人口がこれ以上減らないように取り組んでいることを教えてください。

これで私の質問を終わります。

○副議長(石神にこ君)

廣作さんの質問について、答弁をお願いします。

(市長 岡田高大君 「議長」と呼ぶ)

○副議長(石神にこ君)

市長、岡田さん。

(市長 岡田高大君 答弁席へ移動)

○市長(岡田高大君)

廣作議員のご質問にお答えします。

まず「天空の城越前大野城をもっとアピールするために、大野市として何か考えていることはありますか」についてですが、天空の城越前大野城は、平成26年にマスコミに取り上げられたことをきっかけに、多くの観光客が訪れるようになりました。

その効果もあり、越前大野城を含む大野市への平成28年の観光客は、213万人と過去最高になりました。

現在、越前大野城の写真は、大野市のホームページやパンフレット、菓子店の包み紙などに掲載されています。

また昨年作成した冬の越前大野城を撮影したポスターが、日本観光コンクールのオンライン投票で全国1位に選ばれています。

ほかにも、天空の城が出現する可能性がある日をフェイスブックで情報発信したり、越前大野城の内装や展示品をリニューアルするとともに、10月から11月までの早朝に越前大野城を開館するなど、多くの人に越前大野城を訪れてもらう工夫もしています。

今後は、越前大野城が展望できる所への道を整備するほか、インターネットの地図情報でも越前大野城が見られるような仕掛けをしていき、多くの人に天空の城越前大野城をアピールしていきます。

次に「天空の城の後に続く大野の観光アピール第2弾を考えていますか」とのご質問にお答えします。

大野市には、日本一きれいと呼ばれた六呂師高原の星空や、樹齢100年以上のスギとケヤキの幹の根元が一緒になって生えている春日神社の良縁の樹、和泉地区の恐竜などの化石や御清水に代表される名水、幕末の大野丸に象徴される進取の気象を育てた土井利忠公などの大野の偉人など、大野をアピールする地域資源が多数あります。

それらを広くアピールできるよう、今年市内の中学生、高校生を対象として、未来の大野市をどうつくっていくと良いのかを提案する私が未来の市長プロジェクトや、市外の高中生、大学生を対象とした観光プロデュースコンテストなどで、若い人からのアイデアもいただき、観光資源として磨き上げ、大野の素晴らしさを多くの人に伝えていきたいと考えています。

廣作議員の身の回りや住んでいる地区にも、大野の歴史や文化、自然の素晴らしさが詰まっている地域資源が多数存在していると思います。

ぜひ見付けて、その素晴らしさを多くの人に伝えていただくようお願いします。

次に、人口減少対策についてのご質問にお

答えします。

まず「10年後、20年後の人口」についてですが、5年に一度行われる国の調査の結果、平成27年の大野市の人口は33,109人でした。

国の人口などを研究する機関が予測した人口は、10年後には28,213人、20年後には23,694人になるといわれています。

次に「これ以上人口が減らないように取り組んでいること」について、ご説明します。

日本全体の人口が減る中で、大野市として人口を増やすことは難しいと思いますけれども、人口が減るスピードを緩やかにすることを目指し、若い世代の結婚や出産、子育てを応援する取り組みや、新しい人が入ってくるように県外から移り住んでくる人や、観光客などを増やす取り組みを進めています。

また大野市の恵まれた水環境を世界に向けて発信し、市民が大野市の良さに自信と誇りを持って住み続けてもらう水への恩返しキャリングウォータープロジェクトなどの取り組みを進めているところです。

このようにいろいろな取り組みを行うことで、大野に住む一人一人が誇りを持って住みまち、住んで良かったと思える元気なまちにしていきたいと思っています。

以上です。

(10番 廣作知優君 「議長」と呼ぶ)

○副議長(石神にこ君)

廣作さん。

○10番(廣作知優君)

これで私の質問を終わります。

○副議長(石神にこ君)

以上で廣作知優さんの質問を終わります。

廣作さんは、自分の席に戻ってください。

井上鈴菜さんは、質問席へお願いします。

(1番 井上鈴菜君 質問席へ移動)

○副議長(石神にこ君)

次に、1番、有終西小学校6年、井上鈴菜

さんが質問を行います。

(1番 井上鈴菜君 「議長」と呼ぶ)

○副議長(石神にこ君)

井上さん。

○1番(井上鈴菜君)

私は大野に来る観光客がもっと楽しく過ごせるためについて、質問します。

私たちの学校では、観光客をよく見掛けます。

駐車場には、県外ナンバーの車もよく見ます。

でもその観光客の人たちが、本当に大野に来て楽しんでいるのかが気になります。

そこで、私なりに観光客が大野に来て楽しむための二つのことを提案したいのですが、できそうか質問します。

一つ目は、空き家を子どもたちの遊び場にする事です。

空き家が増えている中、そこを子どもたちの遊び場として花を飾ったり、魚や虫を飼ったりして、家の中を子どもたちの好きなように作り直します。

そして観光客や観光に来た子どもたちが、そこで遊べるようにしたり、一緒に家を造ったりして友達になれば友情の輪が広がります。

また観光に行ったときに会ったら、観光が楽しくなると思います。

二つ目は、おおの城まつりのおおの踊りのときに、大野独特の山車を作ることです。

私たちは、5年生のときに六間通りで毎年のお盆に行われているおおの城まつりに、5年生のみんなで参加しました。

大野音頭をはじめ4曲、全て踊りました。

今年も西校の5年生が踊りました。

でも、昔と比べると、踊る人や観光客が減っているそうです。

そこで、ほかのお祭りや青森県のねぶた祭りのような大きな山車を作ってはどうでしょ

うか。

その山車にはうぐピーやうめピーがいて、ちょうちんを飾るなどしてはどうでしょうか。

またうぐピーじゃなく大野にゆかりのある人物、土井利忠さんや内山良休さんなどでもどうですか。

また山車に乗っているものには福井県の物で、例えば越前和紙などにしてみると工夫ができると思います。

どうですか。

この二つのことを提案したいのですが、できそうか質問します。

またこのほかに大野市が観光に来て楽しんでもらうために、取り組んでいることがあれば教えてください。

○副議長(石神にこ君)

井上さんの質問について、答弁をお願いします。

(市長 岡田高大君 「議長」と呼ぶ)

○副議長(石神にこ君)

市長、岡田さん。

(市長 岡田高大君 答弁席へ移動)

○市長(岡田高大君)

井上議員のご質問にお答えします。

まず「空き家を子どもたちの遊び場にしては」についてですが、空き家を使うにはその所有者から許可をもらったり、安全に遊ぶための補修をしたりする必要があります。

建物を、観光客を含めて子どもたちの遊び場にしたいという人がいれば、市として支援を考えたいと思います。

また大野市には、藩主隠居所やお清水会館など観光客が休憩できる施設がありますので、そこにけん玉やこまなどを置いて、子どもも大人も昔の遊びが楽しめるような工夫をしていきたいと思います。

次に「おおの城まつり」について、お答えします。

おおの城まつりは、昭和43年に亀山に越前大野城が建設されたことを記念して開催され、今年で50回目となるお祭りです。

毎年、多くの人が大野音頭などのおおの踊りを楽しく、一生懸命踊って城まつりを盛り上げています。

おおの踊りを踊る人が減っていることから、踊り方や歴史を解説するDVDを作ったり、お兄さんやお姉さんたちが忙しい仕事の合間に笛や三味線、太鼓の練習をして生演奏で踊ってもらえるよう努力しているなど、みんなが楽しく参加できるよう工夫しています。

また城まつりでは、市内の小学生が地域の伝統芸能を披露するふるさと芸能発表会や、市内の中学生が一堂に集まる中学生みこしダンスパフォーマンスを実施しています。

大野に昔から受け継がれてきた伝統文化を守り、併せて新しい文化を創造することにも取り組んでいます。

日本各地の祭りは、その歴史と伝統を守り、地域に根差したお祭りとして愛されています。

城まつりに行われるおおの踊りも、それらに負けない立派な歴史と文化を受け継いでいるものです。

大きくなっても胸を張って、大野の宝であるおおの踊りを踊れるよう井上議員も頑張って練習に励んでください。

なお今後、城まつりを盛り上げるため、山車を作りたいという人たちが出てくるようであれば、市が支援することも考えたいと思っております。

次に「このほかに観光客に楽しんでもらえるために取り組んでいること」について、お答えします。

大野市ではおおの城まつりのほか、結の花まつり、九頭竜新緑まつりや紅葉まつり、新そばまつり、越前おおの冬物語など、季節ごとにさまざまなイベントを開催し、多くの観

光客に訪れていただいています。

ほかにも大野の歴史の謎を解きながら巡るタイムトラベルアドベンチャーや、お得にまちなか観光ができる食べ歩き見て歩きマップの発行、大野の美味しいお店を紹介するグルメガイドの発行、篠座神社での作法体験や醤油会社での醤油づくりの体験などが行われています。

そして大野市を訪れた観光客が来て良かったな、また来たいなと思っていただける一番のポイントは、何よりも大野市民の温かいおもてなしの心です。

今後もおもてなしの心を大切にして観光客の方々に接していきたいと思えます。

以上です。

(1番 井上鈴菜君 「議長」と呼ぶ)

○副議長(石神にこ君)

井上さん。

○1番(井上鈴菜君)

これで私の質問を終わります。

○副議長(石神にこ君)

以上で井上鈴菜さんの質問を終わります。

井上さんは、自分の席にお戻りください。

以上で子ども議員質問を終わります。

日程第6、大野市議会議長より講評をいただきます。

(議長 山崎利昭君 「議長」と呼ぶ)

○副議長(石神にこ君)

大野市議会議長、山崎利昭さん。

(大野市議会議長 山崎利昭君 登壇)

○議長(山崎利昭君)

子ども議員の皆さん、大変ご苦労さまでございました。

本日は、オブザーバーという立場で皆さま方の質問、そして市長からのご答弁を聞かせていただきました。

皆さんは、本当によく勉強をされていて、落ち着いてしっかりとした質問を行われ、驚

かされてるいるところでございます。

われわれ大人には思い付かないような、小学生ならではの質問も多く、私も原点に戻ったような気がして気を引き締められる思いがしております。

本日、皆さんがこの議場で味わった緊張感は、日ごろ経験できるものではなく、一生の思い出に残る貴重な経験であると思います。

ご存じだと思いますが、市議会議員などの選挙は、18歳以上の方が投票できます。

皆さんもあと6年程度で選挙権を得て、投票所に行き、投票することになります。

今日のこの経験を通じて、ぜひ議会や政治に興味を持っていただくとともに、これから学校での勉強にも生かしていただきたいと思っております。

また皆さんが大野市、そして地域を愛する気持ちが皆さんの質問からたくさん伝わってきました。

この気持ちを忘れずに、将来もずっとこの結の故郷越前おおのに住み続けていただきたいと考えます。

「明倫の心を重んじ 育てよう 大野人」

私たち大野市議会は、皆さんが大野で結婚し、子どもを産み育て、ずっと暮らしたいと思えるまちであり続けられるよう、その実現を目指して全力で頑張っております。

今日は、私も非常に貴重な体験をさせていただきました。

本当にありがとうございました。

以上で私の講評を終わります。

○副議長（石神にこ君）

以上で日程が全て終了しました。

これもちまして、平成29年8月第3回大野市子ども議会を閉会します。

お疲れさまでした。

上記会議のてん末を証するためここに署名する。

議長

副議長

署名議員

署名議員

(午後3時18分 閉会)

子ども議員感想文

議席番号 1 有終西小学校 6年 井上 鈴菜

私はなんと議長になりました。最初は、できるか心配だったけど、決まったのだから「がんばろう」と思いました。議長や副議長は他の議員よりしゃべる量が多いのですごくきんちょうしました。私は議会が始まってから、しゃべることばかり注意しようとしていたせいで動きを忘れそうになっていたけどなんとかできました。

私は議会というものは、たまに総理大臣とか政治のえらい人が出てるのをテレビで見ましたが、実際、この市役所の議会室はテレビで見たものみたいだったので、もっときんちょうしました。

私は、大野はあまり見どころとといったものは最初なかなか思いつきませんでした。ですが、私は大野にいるから分からないんだとも思いました。見どころには、有名も入ると思ったし、また、他の場所とはちがうというのが見どころというのも知りました。

そこで、他の県から来た友達や他の市の友達に聞くと、水やイトヨ、米などで、大野の見どころが分かりました。私はよくばりなので、もっともっと大野の見どころがほしいと思いました。それで、今、空き家が増えているなら空き家を使って子どもたちの遊び家にすれば、見どころになると思いました。

そして、もう一つ、城まつりは、おどる人もお店も減っているの、また別でなくやぐらにつけたすということをするれば、目立つとも思いました。

このようなことを思っていると言えない人がいる中、私は子ども議員として言えたのでいい機会だったと思いました。また、他の議員の思いで勉強になりました。

議席番号 2 阪谷小学校 6年 山腰 祈愛

私は2番の会議録しょ名議員になりました。

事前説明会のときにリハーサルをして、すごくまちがえてしまって、リハーサルでこんなにまちがえるのに本当の議員さんはリハー

サルなしで本番なので、すごいな、と思いました。議場に入るとすぐきんちょうが増えてきて、足が固まってしまいました。

私は議席番号2番なので1番最初に質問したことが心に残っています。ふだんこんなにきんちょうすることは無いので、いい経験だと思います。他の子ども議員の質問の仕方、工夫している様子を見てまねしたい所がたくさんありました。

私は大人になったら議員さんになりたいと初めて思いました。議員になって、もっともっと大野をよくしていきたいです。そして、大野市で親切の輪をもっと広げていきたいです。大人になって優しく、賢く、たくましい大野人をもっともっと育てていきたいです。

議席番号3 富田小学校 6年 吉村美絵子

初めての体験だったので、最初議会室に入ったとき、いつもとちがうきん張がありました。でも、質問に対してどんな答えが返ってくるか楽しみでもありました。きん張して、少しひっかかったところが唯一悔いが残ります。けれど、なんとか質問できました。

市長さんはとてもいねいにお答えしてくださいました。答えてくださっている間、メモを取りながら聞いて疑問点について再質問もできました。ふるさと納税は大野市のくらしをよくするために使われるだけではなく、東ティモールという外国を支えんしているということを知りびっくりしました。ますますふるさと納税について関心を持つことができました。

他の子ども議員の質問も「なるほど」という質問があり、とても楽しく聞けました。大好きな大野を知るよい機会になりました。この議会での経験をこれからの生活に活かしていきたいです。

議席番号4 乾側小学校 6年 吉川ほのか

子ども議員を体験して、議員さんはこんなにきんちょうする議会をたくさんしていることにびっくりしました。私は、議場に入った

ときからきんちょうしていろいろな所で礼をしたり、質問するとき「議長」と手を挙げたりするのを忘れていないか、とても心配でした。でも、練習で教えてもらったとおりでできたのでうれしかったです。

私は、大野市の人口を増やすための土地の利用について質問しました。市長の岡田さんは大野市の人口が増えるように働ける場所を増やしたり、観光客にたくさん来てもらえるようにしていると答えてくださいました。この答えを聞いて、私も大野市の人口が減らないように、人口を増やすために何をすればいいのか考えていきたいです。

私は、みんながなかなかできない貴重な体験ができてうれしかったです。

ありがとうございました。

議席番号 5 有終東小学校 6年 木下蓮士

ぼくは、子ども議員を体験して、とてもきんちょうするなか、かまらずしっかりと発表ができたので、これからどんなときでもあまりきんちょうせずにはできると思いました。

なかなか体験できないことなので、しっかり学習できてよかったし、今の大野市のことをくわしく知ることができたので、まえよりも大野市のことが好きになりました。

小学校までスクールバスでくるという考え方がなかったので、自分の頭もかたいなあと思いました。

このきちょうなけいけんを生かして、つどいなどのときでもどうどうと発表できたらいいなと思いました。

議席番号 6 上庄小学校 6年 石神にこ

私が今回一番心に残ったことは、副議長として議長席に座って会議を進行したことです。とてもきん張したけど、元気な声で話すこ

とができて、貴重な体験をさせてもらいました。

自分の質問で、私は2つ質問をしました。1つ目は「大野市の小学校を2校にすることについて」です。答弁は少し難しかったけど、3年半もかけて案を出したことを知り、長い時間をかけて考えられたことが分かりました。

2つ目は「大野市のPRについて」です。大野にしかないもの、大野にある宝をよりみ力的に発信するために、市役所の方が直接PRに行ったり、フェイスブックやインスタグラムを活用したりと努力している事が分かりました。

今回の体験を通して、議場はとても神聖なところで、真けんに大野市の事を考えている人しか入れないんだと感じました。

大野市をより良くするために、たくさんの方が関わっていることを知りました。なのでこれからは、大野市のことにもっと興味を持ちたいと思いました。

ありがとうございました。

議席番号7 下庄小学校 6年 明石七星

私は初めて子ども議会を体験しました。当日は、大野市長や市議会議員の方がたくさんいて質問や要望を言うときは、とても緊張しました。

福井国体に向けての取り組みの質問に対して市長さんがたくさん答えてくれました。私達が作った「応援のぼり旗」をかかげたり、沿道に花をたくさん置いたりして選手をあげまし、大野市に来て良かったと思ってもらいたいです。

また、下庄公民館前の歩行者信号の青の時間を長くしてほしいという要望に対しては、「公安委員会にお願いをしました。」と答えてくださり、とてもうれしかったです。信号の赤や青の時間は、道路の交通量を調査して、その結果をもとに決めていると教えていただき、なるほどなあと思いました。青の時間が少しでも長くなって

ほしいなと思いますが、素早く横断するように注意していきたいと思います。

自分の質問が終わっても議会全体が終わるまで、ずっと緊張していました。このような貴重な体験は、一生のうちでなかなかできないことなので、大人になっても忘れずにいたいです。

議席番号 8 小山小学校 6年 服部詩花

子ども議会に参加して、当日はとても緊張しました。

私は大野の水のことについて質問しました。自分の言葉でしっかり質問できたのでよかったです。質問には市長さんがていねいに答えてくれてよく分かりました。私もこれから大野の水を大切にしていこうと思いました。

子ども議会には6人の友だちがいたので少し気が楽でした。みんないろいろな質問をしていました。特に印象に残ったのは、国体についての質問です。キャラクターグッズやストラップを増やしていくと答えていたのでワクワクします。私も一つ買いたいです。

子ども議会が終わってから再質問すればよかったと気付きました。とても緊張したけど楽しい一日でした。

議席番号 9 和泉小学校 6年 山崎誠真

初めて議場に入りました。議場はとてもきれいでした。市民けん章首唱者という役目もすることになり、大野市長さんとも話すこともできるというとても貴重で、一生に一度しかできない楽しいことができて、とても良かったです。

首唱も質問も練習して議会にのぞみました。議会前は少しきんちょうしたけれど、議場に入れば落ち着いていつも通りでした。議場のいすは大きくて、居心地があまり良くなかったです。

ぼくは議会のことについてほとんど知りませんが、他の人が紹介されているときに、となりの人とこしょこしょ話をする大人がいま

した。それは礼儀に反するのではないかと疑問に思いました。また、議会中にねてしまった人もいました。それらは良いのかぼくには分かりません。

大野市長から納得のいく答えを聞けて、議会の目的もしっかりと果たせて良かったです。

議席番号 10 有終南小学校 6年 廣作知優

私は子ども議会では、どんなことをするのか、楽しいのかな、きんちょうするのか、などと考えながら質問することを考えました。

楽しむ場所じゃないけれど、始まる前はとてもわくわくしていました。本番はやはりきんちょうしたのか「議長」と手を上げるタイミングを間ちがえてしまいました。いつもだったら、ここであわててしまうけれど、この日はおちついて、本当のタイミングでもう一度手を上げて発言することができました。

私は失敗もしたし、こうするとよかったなと思うこともあったけれど、南校の代表として子ども議会に出れて良かったです。

今度またこのような機会があったら、また参加したいと思いました。

ありがとうございました。

結むすぶのな故郷 越前おおの